

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和5年7月31日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	天野産業株式会社
所 在 地	岡山県笠岡市七番町1番地の76
代表者役職・氏名	代表取締役 天野 和彦
担当者連絡先	電話：0865-63-2770 メール：a.morimoto@amano-sangyou.co.jp
ウェブサイトURL	https://amano-sangyou.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和44年に創業した総合建設業者であり、岡山県の港湾を中心として海上土木工事、浚渫・埋立工事、陸上土木工事の請負事業を実施している。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	月平均時間外労働時間 【現状】 30時間 【目標】 20時間
□環境 ✓社会 ✓経済	現場見学会、建設業に関するイベント活動等により、建設従事者の安定的な雇用。	建設技術者の雇用 【現状】 2名/年 【目標】 4名/年
✓環境 □社会 □経済	「美しく豊かな海づくりに関する協定書」に基づき、瀬戸内海の環境保全に取り組む。	・毎年継続的に、稚魚の放流・海ごみの清掃・アマモの種付け活動を行い、漁獲高アップに貢献する。

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、その運用に経営陣が積極的に関与している。 ・総務部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨、就業規則に明記している。 ・総務部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法等の改正内容を経営陣を含めて共有している。 ・長時間労働是正のための労働衛生の改善、時間管理の対応を行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・労働安全衛生マネジメントシステムを運用している。 ・社員向けの労働衛生講習会の実施等を通じて周知徹底を図っている。		3						8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している。 ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している。		3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材が活躍できるよう、短時間勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいる。 ・令和4年12月現在、1名の障害者を雇用している。			5.1 5.5				8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役職に応じた外部研修の受講や、資格所得の為の講習希望者には一定額の補助を支給。 ・資格所得費用の一部補助を支給。			4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	経済産業省 健康優良法人2022(中小規模法人部門) 2年連続		3					8										
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・各現場で使用する機械等を含めた温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減に努めている。						7.2 7.3				12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・ISO14001の管理規定に基づき、有害化学物質を特定し、適切な使用に取り組んでいる。		3.9			6.3				11.6	12.4							

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16
環境配慮・資源循環	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・海ゴミの回収、稚魚の放流、アマモの種付け等の活動により生態系維持に寄与している。							6.6								15	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる								6.4	6.6								
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001所得			3.9			6	7				12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・会社ホームページを活用し、情報提供を行っている。												12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15	
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO9001に基づく仕組みの構築。		3.9										12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001に基づく仕組みの構築。									9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6							12	13	14	15	
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・地元高校生、大学生を対象とした現場見学会、長期インターシップ			4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・カブトガニ保護活動への参加 ・瀬戸内海への稚魚放流 ・福祉団体等への寄付			4								11		14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・(品質方針)(環境方針)(事業継続方針)を運用し、それぞれの方針に基づき、全員参加によるマネジメントシステムを展開している。									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・社内コミュニケーションツール、会議等で法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・責任者を明確にして体制を管理している。																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																	16 17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・品質(9001)、環境(14001)、事業継続(22301)の所得																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・カブトガニ保護活動への参加 ・瀬戸内海への稚魚放流 ・現場見学会、長期インターシップなど																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続ISO22301所得												9	11	13.1		16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている													8	9			17

上記以外で設定した取組項目

(様式第4号)

令和 6 年 10 月 2 日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 岡山県笠岡市七番町 1 番地 76

名 称： 天野産業株式会社

代 表 者： 代表取締役 天野 和彦

登録年月日： 令和 5 年 9 月 29 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	月平均時間外労働時間 【現状】 30 時間 【目標】 20 時間	月平均時間外労働時間 25 時間
□環境 ✓社会 ✓経済	現場見学会、建設業に関するイベント活動等により、建設従事者の安定的な雇用。	建設技術者の雇用 【現状】 2 名/年 【目標】 4 名/年	建設技術者の雇用 6 名/年
✓環境 □社会 □経済	「美しく豊かな海づくりに関する協定書」に基づき、瀬戸内海の環境保全に取り組む。	・毎年継続的に、稚魚の放流・海ごみの清掃・アマモの種付け活動を行い、漁獲高アップに貢献する。	稚魚の放流・海ごみの清掃・アマモの種付け活動に合計 5 回参加

(様式第4号)

令和7年8月26日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 岡山県笠岡市七番町1番地76

名 称： 天野産業株式会社

代 表 者： 代表取締役 天野 和彦

登録年月日： 令和5年3月29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	月平均時間外労働時間 【現状】 30時間 【目標】 20時間	月平均時間外労働時間 23時間
□環境 ✓社会 ✓経済	現場見学会、建設業に関するイベント活動等により、建設従事者の安定的な雇用。	建設技術者の雇用 【現状】 2名/年 【目標】 4名/年	建設技術者の雇用 2名/年
✓環境 □社会 □経済	「美しく豊かな海づくりに関する協定書」に基づき、瀬戸内海の環境保全に取り組む。	・毎年継続的に、稚魚の放流・海ごみの清掃・アマモの種付け活動を行い、漁獲高アップに貢献する。	稚魚の放流・海ごみの清掃・アマモの種付け活動に合計8回参加